

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

( 秋期・一般選抜 ) 問題

専門科目Ⅰ 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

|   |  |
|---|--|
| 成 |  |
| 績 |  |

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ ( 中国語学中国文学 専攻分野)

1、次の文章は、宋・王楙『野客叢書』卷十九「韓退之文章」である。問題文の左側に、現代仮名遣いによる書き下し文と現代日本語訳を、それぞれ記しなさい。なお、問題文は1頁から3頁までである。

唐之文章。至韓退之而大備。無可疵者。後之學者。於是取則。其體固不一也。一篇之中。有始逆言兩事而終只以一事結者。有以一意起而終以兩意著者。如爲人求薦書曰。某聞木在山。馬在肆。匠石過之而不盼。伯樂遇之而不顧。

然後知其非棟梁之材、超逸之足也。以某在公宇下非一日。又辱居姻婭之後。是生於匠石之園。長於伯樂之廐也。是以木馬兩事竝起也。然終之曰。昔人有鬻馬不售於市者。知伯樂之善相也。從而求之。伯樂一顧。價增三倍。某與其事相類。故終始言之耳。是棄木而說馬也。又如送子孟東野序云。大凡物不得其平則鳴。

然又言。其在唐虞。咎陶、禹善鳴者。而假之鳴。伊尹鳴殷。周公鳴周。周衰。孔子之徒鳴之。屈原鳴楚。李斯鳴秦。又曰。天將和其聲而使鳴國家之盛邪。抑將窮餓其身。思愁其心腸。而使自鳴其不幸邪。是則鳴者。蓋有出於自然者矣。豈可謂專不得其平邪。是又以一意起而兩意終者如此。

11 次の三項について、それぞれ解説しなさい。

- ① 漢書藝文志
- ② 文選
- ③ 問一多

受験記号番号

5 / 6

[illegible]

受験記号番号

$$6 \quad / \quad 6$$
[illegible]